

農林水産部

農林水産委員会 【所管事項関係資料】

9月8日提出

目 次

1	令和7年度新規就農者の状況について〔農林政策課〕	3
2	農畜産物の輸出の状況について〔農業経済課販売戦略室〕	5
3	令和7年度新規漁業就業者の状況について〔水産漁港課〕	6
4	令和7年度新規林業就業者の状況について〔林業木材産業課〕	8

1 令和7年度新規就農者の状況について

農林政策課

令和7年度の新規就農者数は284人となり、13年連続で200人を超え、平成元年度以降では最多となった。

1 令和7年度の就農状況

- ・ 就農区分別では、新規参入203人、Uターン72人、新規学卒9人となり、新規参入は過去最多となった。
- ・ 近年、増加傾向にある農業法人等での雇用による就農は200人と、新規就農の全体の7割を占めている。
- ・ 特に、園芸メガ団地における雇用は39人となり、団地が整備された平成26年度からの12年間の合計で325人と、地域の雇用の受け皿になっている。

※就農区分

新規参入：非農家出身者の就農

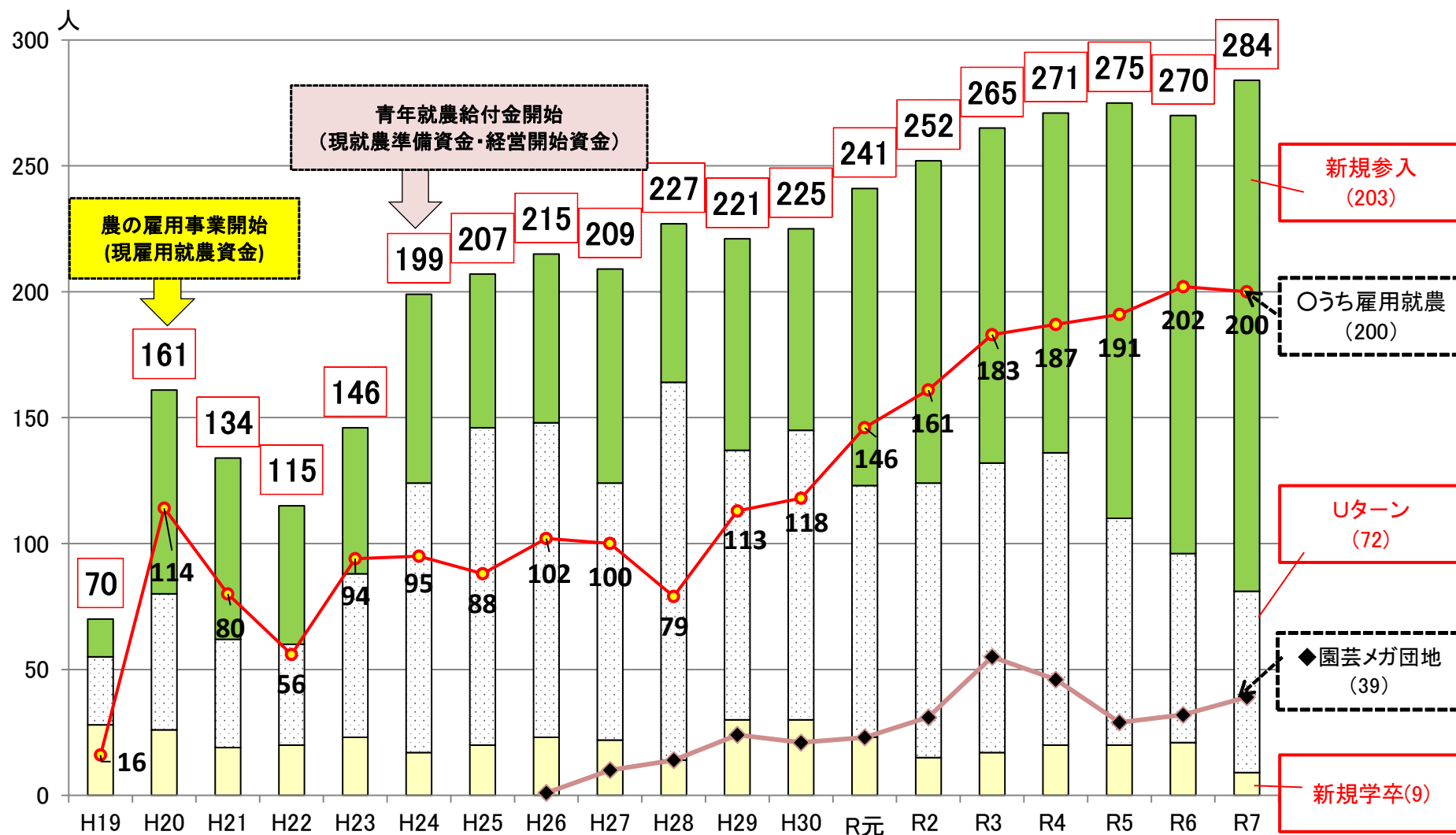
Uターン：農家出身者で他産業を離職後、または離職後に農業研修を経て就農

新規学卒：農家出身者で学校を卒業後、または卒業後に農業研修を経て就農

2 新規就農の拡大に向けた取組

- ・ 県内外からの多様な人材を呼び込むため、首都圏等での就農フェアへの出展や、県ポータルサイト等での求人情報の発信強化のほか、受入経営体とのマッチングや就農体験研修など、就農相談から営農定着までの各段階に応じた支援を官民連携で実施し、更なる新規就農者の拡大を図っていく。

【新規就農者数の推移】



2 農畜産物の輸出の状況について

農業経済課販売戦略室

令和7年度の輸出額は、9.9億円（前年対比113%）となり、過去最高を更新した。

1 品目ごとの輸出実績

- ・ 米：国内米価の高騰により輸出量が減少し、輸出額は595百万円となった。
- ・ 青果物：台湾での認知度が高まっているりんご、ねぎ、香港向けのももの輸出量の増加により、青果物の輸出額は77百万円となった。
- ・ 秋田牛：タイ・台湾・ベトナムでの需要増加により、輸出額は318百万円となった。

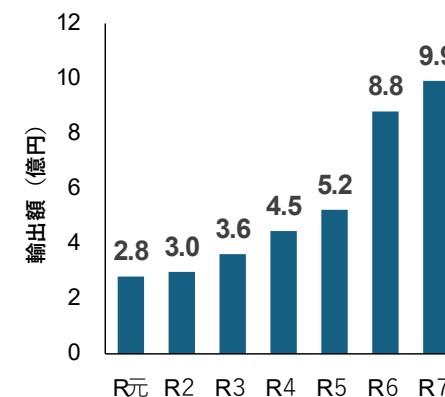
2 令和8年度上半期の取組と成果

- ・ 台湾での知事トップセールスでは、台中エリアでのPR商談会の開催が決定したほか、秋田牛の現地取扱事業者と取扱量拡大に向けた意見交換を実施した（7月）。
- ・ シンガポールでは、高級スーパーにおいて、小玉すいか「あきた夏丸チツチェ」のフェアを開催し、現地の消費者へ県産青果物の品質の良さをPRした（8月）。

3 今後の対応方針

- ・ 米：アメリカ東海岸エリアでの副知事トップセールス（10月）
- ・ 青果物：台湾での観光と連携したイベントでのPR（11月）、台中果菜市场での生産者によるPR商談会（12月）
タイの百貨店でのりんごフェア、日本なし等のテストマーケティング（12月）
シンガポールの量販店での青果物フェア（9月、12月）
- ・ 秋田牛：タイでのカット技術・調理法セミナー（11月）
台湾での観光と連携したイベントでのPR（11月）
ベトナムでの市場調査（1月）

【県産農畜産物の輸出額】



秋田牛取扱店での
知事トップセールス

3 令和7年度新規漁業就業者の状況について

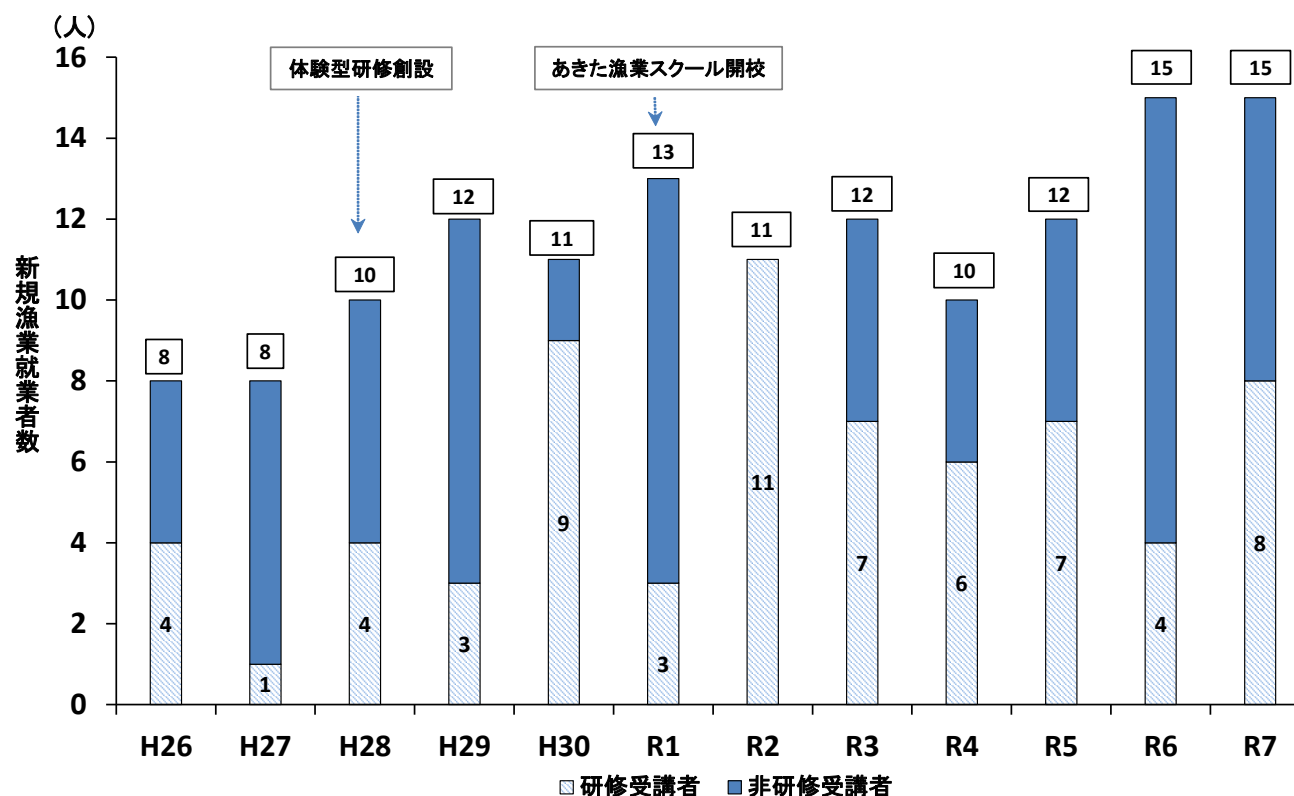
水産漁港課

令和7年度の新規漁業就業者数は15人となり、過去最多となった前年と同数であった。

1 令和7年度の就業状況

- ・ 新規漁業就業者のうち自営就業が14人、雇用就業が1人であった。
- ・ 漁業者数は減少傾向にあるものの、一定数の新規漁業就業者数を確保している。

【新規漁業就業者の推移】



2 新規漁業就業者の確保に向けた取組

- ・ 「あきた漁業スクール」における漁業未経験者を対象にしたトライアル研修の実施や、SNSなどを通じた漁業の魅力発信の取組のほか、トライアル研修修了後の就業希望者に対する実践的な技術習得研修等を行いながら、新規漁業就業者の確保・育成を図っていく。



〔中学生への職業紹介〕



〔R 8 漁業スクール募集チラシ〕

4 令和7年度新規林業就業者の状況について

林業木材産業課

令和7年度の新規林業就業者数は前年並みの148人で、14年連続で東北1位となり、全体の林業就業者数は、前年より25人減の1,392人となった。

1 新規林業就業者の年齢構成

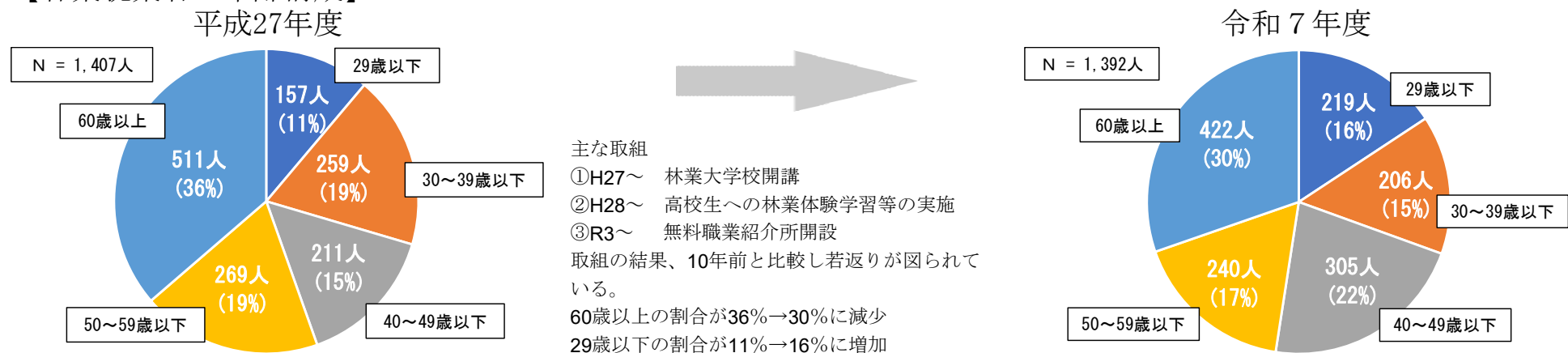
29歳以下が58人（39％）であり、このうち新規学卒者が21人を占めている。

新規林業就業者：林業事業体が雇用した者で、主として林業の現場作業に従事する者（アルバイトなどの臨時雇用を除く）
新規学卒者：就業する直前に、高校・短大・大学・専門学校・林業大学校等に在学していた者

2 新規林業就業者の確保に向けた取組

林業大学校における技術者養成や、小・中・高校生への林業体験学習を実施するほか、新たな就労環境の整備に取り組む林業経営体への支援などにより、新規林業就業者の確保・育成を図っていく。

【林業就業者の年齢構成】



【新規林業就業者の推移】

